

ふかめよう！ 道徳科



本資料は、「はじめよう！道徳科」（平成30年3月県教育委員会作成）を踏まえ、文部科学省・県教育委員会の指定校・指定地域における次の3つに係る取組を紹介したものです。

- ①教育活動全体で行う道徳教育
- ②「考え、議論する道徳」の授業
- ③道徳科の評価

道徳教育の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（中学校：広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の生き方（中学校：人間としての生き方）についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

道徳教育は、道徳科を要として学校教育全体を通して行うものです。



道徳教育と道徳科の目標の統一が図られ、分かりやすくなりましたね。

群馬県教育委員会 各課発行・提供資料

群馬県 道徳科

検索

1 教育活動全体で行う道徳教育

藤岡市立藤岡第二小学校の例

キーワード

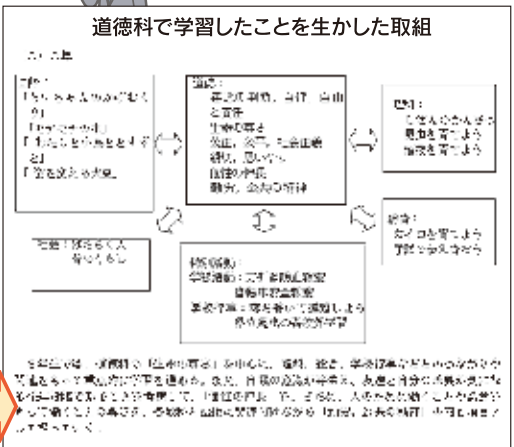
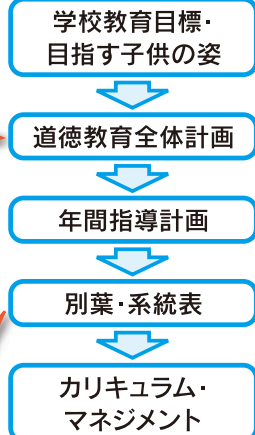
1. 指導計画の作成

4つの視点から1つずつ重点内容項目を決めます。

- A: 善悪の判断、自律、自由と責任
- B: 親切、思いやり
- C: 公正、公平、社会正義
- D: 生命の尊さ

- 道徳教育を補充、深化、統合するものとして、各内容項目と他教科等との関わりを重視します。
- 郷土資料「ぐんまの道徳」を効果的に位置付けます。
- 重点内容項目の教材については、教材の特性や児童の実態に応じて、指導時期を決めます。

他教科との関連、全体とのつながりを考えて



- 学校行事は、道徳科の授業で学んだことを実践できる場です。例えば、運動会においては、「最後まであきらめずに、力を出し切ろう」(希望と勇気、努力と強い意志)「ルールを守って競い合おう」(規則の尊重)といった道徳的価値との関連を図ることができます。

2. 全ての教員による道徳科の授業

教材研究・授業実践

- 全教員がいずれかの学年に所属し、教材研究する時間を計画的に設定します。
- 学習指導要領・系統表で内容を確認し、ねらいと評価を決め、導入や中心発問を考えます。
- 体験的な学習や問題解決的な学習など、児童の実態に合わせて効果的な指導方法を協力して考えます。
- 同一日に同学年の授業を組むとともに、家庭への通信の作成などを輪番で行い、業務改善を図ります。

校内環境の整備

- 教材資料を整理保管し、次年度の授業に生かします。
- 指導案、板書計画、ワークシート、家庭通信、場面絵等の作成をローテーションで分担し、電子データは共有します。



授業改善の工夫

- 授業研究会では、内容を絞って話し合い、共通理解を図ります。
- 他校の授業を参観した際には、報告する場を設け、効果的な指導方法や新しい視点での授業構想について情報を共有します。

3. 地域・家庭との連携

- 道徳通信の発行を通して、毎回の授業の様子を家庭に伝えています。
- 保護者・地域の方に対して授業公開し、連携して取り組みます。
- PTA講演会をとおして、親子で考える機会を意図的・計画的に設け、共通理解を図ります。



キーワード

1. 指導計画の作成

学校教育目標、生徒の実態を踏まえて、重点内容項目や準重点内容項目を設定します。

学校教育目標 自ら学び、創造し、実践できる 心豊かな生徒の育成



【道徳科で目指す生徒像】 進んで他者とかわかり、よりよい生き方を追求する生徒

全体計画、年間指導計画、別葉の改善・充実、調査統計等



【重点内容項目】

A: 向上心、個性の伸長 B: 思いやり、感謝
C: よりよい学校生活、集団生活の充実



【準重点内容項目】

B: 相互理解、寛容 C: 社会参画、公共の精神
C: 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 D: 生命の尊さ

家庭や地域との連携・啓発 (道徳だより、道徳教育講演会)



2. 全ての教員による道徳科の授業

右図のように、学級担任と副担任によるローテーション道徳を計画します。担任20:副担任15の割合で授業を分担します。年度当初と年度末は、学級づくりの観点から学級担任を中心に授業を行います。

ローテーション道徳を、次の2つの方法で実施します。

- ①特定の教員が提案した授業案を基に、各教員が各学級で授業する。
- ②授業案を作成した教員が各学級を回って授業する。

授業づくりや授業を分担することで、時間に余裕が生まれました。



繰り返し授業すると、授業改善にもつながりますね。



▲他学級の学級担任による授業



▲学年主任と学級担任による授業

| 学年 | 教科書 | 西野 | 西野 | 西野 | 1学期 | 2学期 | 3学期 | 学年末 | 計 |
|--------|------------|---------------|------------|------------|-----|-----|-----|---------|---------|
| <1学期> | 4月2週 | 1 山あがりついでに... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 4月3週 | 2 思いやりと... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 5月1週 | 3 ホームワーク... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 5月2週 | 4 小学校に... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 5月3週 | 5 家族の絆... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 5月4週 | 6 誇りに誇... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 6月1週 | 7 私の誇... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 6月2週 | 8 誇り... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 6月3週 | 9 誇り... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 6月4週 | 10 誇り... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 7月1週 | 11 誇り... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 7月2週 | 12 誇り... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| <2学期> | 8月5週 | 13 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 8月14週 | 14 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 8月21週 | 15 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 8月28週 | 16 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 9月4週 | 17 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 10月1週 | 18 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 10月8週 | 19 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 10月15週 | 20 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 10月22週 | 21 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 11月1週 | 22 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 11月8週 | 23 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| | 11月15週 | 24 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 |
| 11月22週 | 25 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 | |
| 12月1週 | 26 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 | |
| 12月8週 | 27 天朝の天... | 中学生道徳 道徳教育 | 中学生道徳 道徳教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲1週 ▲1週 | |

ローテーション道徳による指導計画

★ 道徳だより

第1号 H29.7.19発行 桐生市立中央中学校 道徳教育科

本校では、「進んで他者とかわかり、よりよい生き方を追求する生徒の育成」を目標として、学校全体で道徳教育を進めています。その一環となる道徳の授業では、新聞やその他の資料を使い、課題について生徒がいちいち考え、考えを深められるようにしていきたいと考えています。これら、本校においてどのような道徳教育が行われているのかを「道徳だより」を通してお知らせし、ご家庭との連携も深めていきたいと考えています。各ご家庭でも、ぜひ読んでみてください。

1学期「三六五×十四歳分りのあがり」
病気の為に十四歳で亡くなった主人公が得難くした手紙を題材に、家訓について考えました。

2学期「青柳のブロー〜世界一清らかな空へ」
カリスマ演劇員の青柳幸三郎さんの体験談を通して、動物・植物について考えました。

7月11・12日の授業参観において、全学年の全学級で道徳の授業が行われました。どの学年も意欲的にみんなが考える様子が見られました。ここに、各学年の授業の様子をご紹介します。

3学期「二つの手紙」
動物園の入園券が、入園終了時間を過ぎているにもかかわらず、若い飼育員への関係から入園させ、結果の報復からは感謝されたが、疑問を抱いたことにより会社をやめることになってしまったという資料を通して、まもりを守ることを考えました。

3. 地域・家庭との連携

生徒・保護者による合同の講演会を開催したり、道徳だよりを発行したりし、積極的に情報発信することで、家庭や地域との連携を図ります。

生徒・保護者対象道徳教育講演会
「10年後、君の仕事はあるのか？」
教育改革実践家／元リクルートフェロー
藤原和博 様



家庭・地域へ発信した道徳だより

②「考え、議論する道徳」の授業

小学校低学年

邑楽町立中野小学校 第2学年
 主題名：きまりの大切さ 内容項目：C 規則の尊重
 教材名：『きまりのない学校』 <問題解決的な学習の授業例>



指導のポイント

課程 主な学習活動 (○発問 ◎中心発問 ◇問い返し)

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。
 ○みなさんのまわりにはどんなきまりがありますか。守れていますか。
 S:廊下を走ってはいけない。交通安全のきまり。
 S:だいたい守れている。守れないこともあった。

【問題の発見】

めあて:「きまりは、」ここに入る言葉は何だろう。

- 道徳科におけるめあてとは、本時で扱う道徳的価値へと方向付けるもの。
- 問題の探究で自分事として考えられるよう、身近なきまりについて想起させるための発問を行う。「守れているか」と問うことで、きまりに対するこれまでの自分について考え、問題意識をもてるようにする。
- 穴あめにするなど発達段階に応じて、ねらいとする道徳的価値への方向付けになるよう、工夫する。

2. 道徳的な問題を探究する。

○先生にたくさんしかられたとき、あきらはどんな気持ちだったかな。
 S:怒られていやだな。
 S:どうしてきまりがたくさんあるのかな。
 ○「何でも好きなことをやっていいですよ」と言われたら、みんなならどうする。

【問題の探究】

◎夢からさめたあきらさんが、「ああ よかった」と言ったのは、どんな気持ちからでしょう。
 S:きまりがないと学校は大変なことになってしまうから、きまりがあつてよかったな。
 S:きまりってとても大切なんだ。夢でよかったな。

◇きまりは誰のためにあるのかな。
 S:きまりは、みんなのためにあるんだな。

○あきらさんは、どんなことを考えて学校に行ったのでしょうか。
 S:これからはきまりを守ろう。
 S:やっぱりきまりって大切なんだ。

【探究のまとめ】

○「きまりは、」のあとに続く言葉を考えましょう。
 S:きまりは、みんなのためにある。なぜなら、きまりがなくなってしまうとみんなが困るから。



▲学級全体での交流

▲ペアでの交流

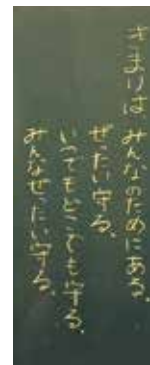
- 教材の中に入り込めるように、場面絵だけを見せて読み進める。
- しかられたあきらさんの気持ちを考えさせることで、普段感じているはずの「きまりに対する窮屈さ」を自覚できるようにする。
- 児童と途中でやり取りすることで、内容を確認しながら読み進める。
- きまりはなくてもよいと考えていた前半の主人公の気持ちを取り上げて比較させることで人間理解を深め、きまりに対する色々な見方・考え方があつたことを捉えられるようにする。
- 中心発問で引き出した考えをさらに多面的・多角的に発展させるために、きまりの大切さについて問い返し、考えさせる。
- 自分の考えを伝えやすくするために、ペアによる意見交流を取り入れる。

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

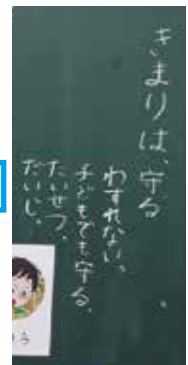
【振り返り】

○これからどんなことに気を付けたいですか。
 S:きまりがないと危ない。
 S:安全のためにきまりがある。

- 導入での「きまりは、」の後の言葉を考えることにより、きまりに対する見方の広がりを確認できるようにする。
- 個々の児童に対してそれぞれの考えを肯定的に受け止め励ます言葉をかける。



<終末での変容>



<導入での実態>

評価の視点

きまりがもつ意味について考え、約束やきまりを守ることについての理由を考えている。



〈板書例〉

うわべの言葉だけでなく、本音で思う存分に語れることが「考え、議論する道徳」につながります。そのためには、道徳の授業はもとより、他の教科でも自分の考えを伝えることができるよう指導することが大切です。そして、発言への意欲を支えるのは安心して本音を伝えることができる学級の雰囲気です。

藤岡市立藤岡第二小学校 第6学年
 主題名：いじめを打ち切る正義 内容項目：C 公正、公平、社会正義
 教材名：『わたしのせいじゃない』 <問題解決的な学習の授業例>

指導のポイント

課程 主な学習活動 (○発問 ◎中心発問 ◇問い返し)

導入

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。

○いじめについてどう思いますか。なくさなければいけないと思いませんか。起きてからなくせばいいのかな。なくせないのかな。
 S: いじめは絶対いけない。
 S: いじめはいけないことなのに、どうしてなくなるのかな。

【問題の発見】

めあて: いじめを起こさせないために大切なことは何だろう。

- 児童の実態から問題意識をもたせられるよう導入の工夫をする。アンケートの結果を紹介し、自分の日常を振り返らせる。
- いじめをなくしたいという思いを確認し、価値の方向付けを行う。
- 「○○について、どう思いますか。それは、どうしてですか。」などと問い、意識のずれや本音と建前の実態を探っていく。



展開

2. 道徳的な問題を探究する。

○いじめの原因は何でしょうか。問題だと思ふ点とその理由を言います。
 S: 自分のクラスで起きたことなのに、気にしていない。
 S: 他の人と違うところがあるからといって、差別している。
 S: 人はそれぞれ考え方が違うのに、それを受け入れていない。

▲問題点の視覚化

○差別や見て見ぬふりなどの態度をとってしまうのはなぜでしょう。

【問題の探究】

◎いじめをなくすために、大切なことはなんだらう。
 S: 自分だけでなく、他の人のことも考える思いやりの気持ち。
 S: いじめを止める勇気が必要。
 S: 周りに流されない強い心を持つ。

○みんな、いじめをなくしたいと思っているのに、なぜ止められないんだらう。
 S: 自分もいじめられると思うから。
 S: 周りの人のことを気にするから、どうしても勇気が出せない。

◇どういう気持ちがあれば、人に流されずにすむんだらう。
 S: どれだけ辛いか考える。
 S: いじめをやめさせる強い気持ちが必要。
 S: 自分を信じて正しいと思うことをする。

▲ホワイトボードを活用した話し合い

- 教材のおおまかな内容を提示しておくことで、時間を短縮でき、児童の思考を途切れさせずに内容に入ることができる。
- 問題解決的な学習では、自分事として考えられるよう問題点を視覚化し、構造的な板書を工夫する。
- いじめをしていることに、気付いているのか、なぜ気付かないのか、それは何が問題なのかを考えさせる。



- 中心発問で、問題解決的な学習を深めるために、この場面に自分がいたらいじめを止められるか尋ね、どうして止められないのかを考えさせる。
- 主体的に考えられるように、ワークシートに記述して自己決定させる。グループ活動で、様々な問題点について、話し合い、多面的・多角的なもの見方や考え方ができるようにする。
- いじめをなくすという、実現の難しさ(人間理解)について考えさせる。

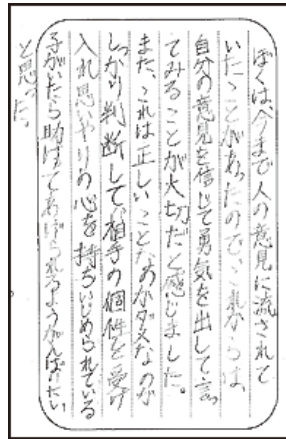
終末

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

【振り返り】

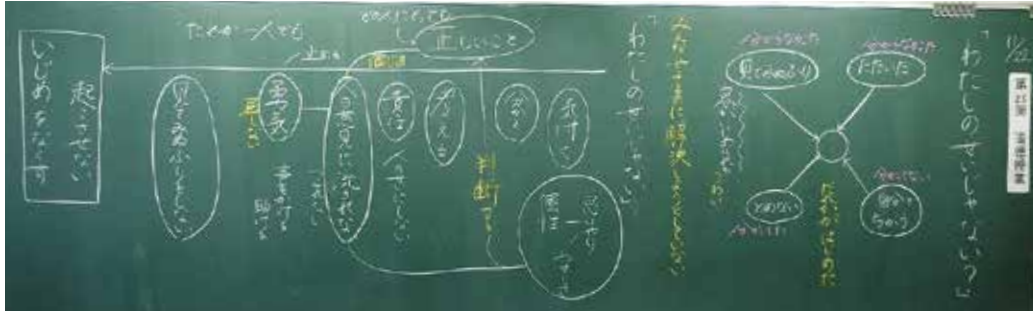
○友達の意見を聞いて考えたことや感じたことを振り返りましょう。
 S: いじめをなくすために、自分も相手も大切にして、違うところを受け入れられるようにしていきたい。

- 児童の考えをよく聞き、児童が道徳的価値に迫る考えを述べたタイミングを逃さず、問い返しをする。
- 関連図に示して板書することで問題点や心の動きを焦点化してねらいに迫り、学級で共有する。
- 何を深く考えさせたいのかという、評価の視点を明確にしておく。
- 導入の実態に戻ったり、意識のずれに触れたりして、教材からは離れて自分事として考えさせる。



<児童のワークシートへの記述>

評価の視点
 公正・公平な態度や社会正義を貫くことについて、多面的・多角的に捉え、自分事として考えている。



〈板書例〉

桐生市立中央中学校 第2学年
主題名：自分を探そう 内容項目：A 向上心、個性の伸長
教材名：『私は十四歳』 <問題解決的な学習の授業例>

指導のポイント

課程 主な学習活動 (○発問 ◎中心発問 ◇問い返し)

導入

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。

○みなさんは自分のよさや自分らしさについてどう考えていますか。
みなさんのアンケート結果を見ましょう。
S:全くないとは思わないけど、よく分からない。
S:友達から言われて、自分のよさに初めて気が付いた。

【問題の発見】

めあて:自分らしい生き方をするにはどうしたらよいだろう。

○事前に学習テーマに関するアンケートを実施し、その結果を提示することで、本時のねらいとする道徳的価値へ方向付け、学習する必要感や問題意識をもてるようにする。
○アンケート結果は見やすいようにグラフ化し、タブレットとテレビモニターを活用して提示する。

○イラスト等を工夫し、教材文の内容について短時間で確認を行い、主人公の置かれている状況や問題について共通理解できるようにする。
○「私」の心境の変化が分かるように、発問の流れや思考の動きが分かる板書を行う。(板書例)

○主人公に自我関与させ、心境の変化について考えさせることで、道徳的価値についての理解を深められるようにする。

展開

2. 道徳的な問題を探究する。

T1はイラスト等を黒板に掲示し、T2は範読をする。

○「私」はなぜバスケットボール部を辞めたのでしょうか。
S:目標を失ったから。
S:バスケットボールで認められなくなってしまったから。



○「新たな自分に出会うためのチャンス」と考えた「私」はどんな気持ちだったのでしょうか。
S:前向きな気持ち。

【問題の探究】

◎「私」の中で何かが変わり始めた。少しずつ私の姿が見えてきたのは、なぜでしょう。

S:自分の思いをダンスで表現できたことで自信がついた。
S:視野を広げ自分を見つめ直したから。
S:自分を表現する喜びに出会えて、変わることができたから。
S:輝いている自分を目指そうと思えたから。
<短冊黒板を使つての比較>



【探究のまとめ】

○自分らしい生き方についてどんなことを考えましたか。
S:うまくいかないことがあっても自分のよさを見付けたい。
S:前向きになれるきっかけは大切だと感じた。

○中心発問では、「なぜそう考えたのか」「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」などを考えさせる。
○考えた理由を問い返したり、その後の行動を考えさせたりして、一人一人の考えを深めさせる。
○日頃から、ペアやグループで話し合う機会を設定し、話しやすい雰囲気や本音で語り合える環境づくりしておく。
○考え、議論する時間を確保するため、ワークシート等に自分の意見を記入する際には、簡単にメモする程度でよいことを伝えておく。

○中心発問で考えた意見をグループで発表させたり、他者の意見への疑問や共感する点などを議論させたりすることを通して、様々な意見に触れさせる。
○グループで考えたことを学級全体で共有し、比較や分類をしたり、意図的に取り上げてもう一度考えさせたりして、多面的・多角的な見方へと発展させる。

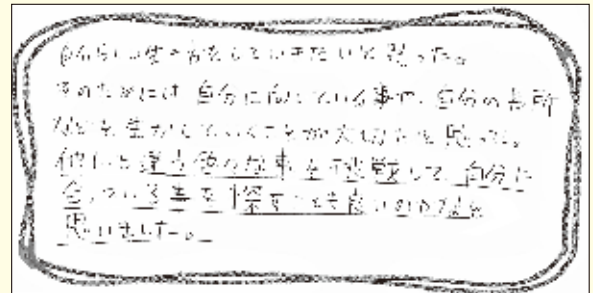
終末

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

【振り返り】

○これまでの自分を振り返り、これからどのように生活していきたいと思えますか。
S:自分も視野を広げて、自分を見つめ直してみたい。
S:輝いている自分を目指していこうと思った。

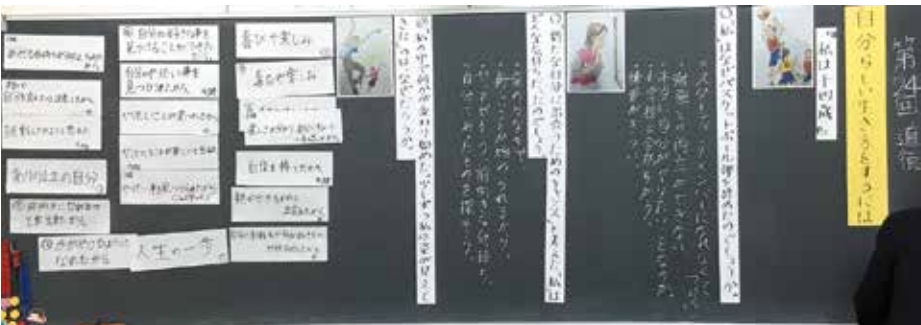
○この時間に考えたことや今までの自分とこれからの自分について考えたことを発表させることで、充実した生き方についての理解を自分との関わりで深め、多面的・多角的な見方ができるようにする。



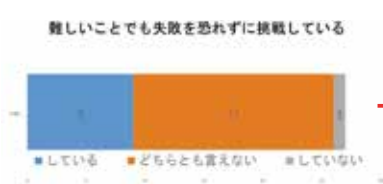
<生徒のワークシートへの記述>

評価の視点

- ・「私」の心境の変化を考えることにより、充実した生き方についての理解を自分との関わりで深めている。
- ・「私」の心境の変化を話し合うことにより、自分らしい生き方について、多面的・多角的な見方ができている。



板書例

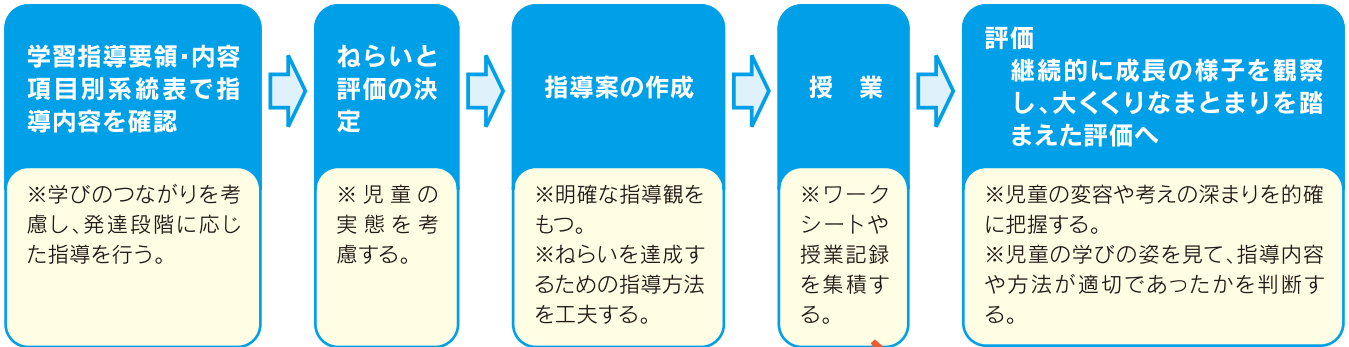


▲導入で紹介したアンケート結果

3 道徳科の評価

評価例 (1) 藤岡市立藤岡第二小学校

◆指導と評価の一体化を図り、評価を指導に生かし、児童の成長につながるようにしていきます。



◆以下のような視点をもって授業を構想するとともに同じ視点で評価します。

多面的・多角的に考えるために

- ・ねらいとする道徳的価値の様々な面を考える。
- ・道徳的価値を支える様々な根拠を考える。
- ・様々な登場人物の立場で考える。
- ・焦点を絞ったり、視野を広げたりして、考える。
- ・時間の経過とともに変化する気持ちを考える。
- ・人間の強さや弱さ等を捉えて考える。

自分との関わりで考えるために

- ・教材の登場人物に自分を置き換えて考える。
- ・教材の問題点等を自分事として受け止めて考える。
- ・日常生活や学校生活を想起しながら考える。
- ・自分の生活を見つめ、振り返りながら考える。
- ・自分だったらどうするかなどを考える。



〇うさぎの自分を振り返って、今日の授業で考えたことを書いてみよう。

今日うさぎは、自分のことで、自分の事しか考えず、自分の行い、多量に迷惑をあたては、いけないことをひらひらするところ、うさぎを学ばせました。相手のことを考え、自分は文句ばかりで、うさぎを怒らせ、自分もいじめから今日なんぼか、うさぎのことがよかったです。うさぎを助けてあげました。

<児童のワークシートへの記述>

評価例 (2) 桐生市立中央中学校

◆道徳科の授業における学習状況や、道徳科の授業を積み重ねたことによる成長の様子を継続的に把握して評価に生かします。

<評価のポイント>
道徳科では、
①「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか」 ②「道徳的価値の理解を自分との関わりで深めているか」の2つの視点で評価します。
授業中の生徒の様子及び生徒のワークシートの記述内容を見取り、右図の生徒名簿型の評価シートに記録します。この評価シートを35時間分綴じ込んだ教師用評価ファイルを作成します。学年職員間で授業担当時にリレー形式で引き継ぐこともできます。

<留意点>
教師用評価ファイル及び生徒の道徳ファイル、学期の最後に行う生徒自身の振り返りをもとに、大きくりなまとまりを踏まえた個人内評価(認め、励ます記述)をしていきます。

| 学年・学期 | 月 | 日 | 授業 授業内容 | 1学期の授業から多量に、多角的に評価シートに記録する。 | 2学期の授業から多量に、多角的に評価シートに記録する。 |
|-------|---|---|---------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |
| 11 | | | | | |
| 12 | | | | | |
| 13 | | | | | |
| 14 | | | | | |
| 15 | | | | | |
| 16 | | | | | |

◆1学期(左)と比較し、2学期(右)では、より自分との関わりで道徳的価値をとらえている様子が見て取れます。

今日の道徳の時間を振り返って、考えたこと、感じたことを書こう。

〇自分の気持ちと、相手の気持ちのズレが少しはマシになったと思いましたが、これからは、相手の立場に立って考えることが大切だと思いました。

〇相手への感謝をお互いにせずにはいられなかった。

今日の道徳の時間を振り返って、考えたこと、感じたことを書こう。

〇日には見えないようなことが、とても大切なことだと思いました。

〇表面上のやさしさは、言葉でもできるけれど、内心の側面からやさしさをもつて、その思いが相手に伝わるのだと思います。

〇嫌なことをもつことが相手に届いた時に、心に伝わることを学ばせました。

〇相手を悪くするのは、相手の心を悪くすることだから、これからは悪くしないでいい。

評価例

(3) 邑楽町教育委員会(小学校)

日々の道徳科の授業(①、②)から、学期での成長を評価(③)します。(大きくりなまとまりを踏まえた評価)

1年生の例

道徳科での見取りから、学期ごとの実際の評価について、① → ② → ③ の順で示しました。

①道徳科の授業 10月
教材名:『みみずくとおつきさま』
内容項目: A 希望と勇氣

授業での児童の振り返り

ゆうきをだすときは、いっぱいあるとおもいました。いままでできなかったことをもう1かいゆうきをだしてやってみようとおもいました。まちがっていることに、ゆうきをだすのはおかしいとおもいます。

教師のコメント

ゆうきをだすのはステキだけど、やってはいけないことやまちがっていることにゆうきをだすのはおかしいとかがえただね。正しいことにゆうきをだしていけるといいですね。

教師の意図

勇氣について具体的に考えられているので、本児の考える勇氣を、正しいと思うことへの勇氣と言い換えて、本児の考えを肯定し励ましたい。

②道徳科の授業 12月
教材名:『ほくにできること』
内容項目: B 親切、思いやり

授業での児童の振り返り

しんせつにすればいろんな人がよるこんでくれるとおもったけど、やるのはちょっとはずかしいな。しんせつをどうやってするのかかわったから、はずかしいけどやってみようとおもいます。

教師のコメント

たしかに、している人だけじゃなくていろんな人にするのははずかしいときもあるよね。でも、それでもやってみようかなとおもえたことは、ステキなことだとおもいます。がんばって。

教師の意図

自分の気持ちを素直に表現しているので、そこに共感し、それでもやってみよう前向きに考えられていることを賞賛し、励ましたい。

③2学期の評価

(例)

自分自身の生活にたらして考える中で、「自分は登場人物のようにすることは難しいかもしれない」と素直な気持ちを書いていました。
身近な人に支えられていることに気付いて、「でも頑張ってやってみたいな」と前向きに考えることができました。



評価例

(4) 邑楽町教育委員会(中学校)

ポートフォリオ形式のワークシートによる道徳科評価の例

ローテーション道徳(複数の教員による授業)には、評価の難しさがあります。そこで、ポートフォリオ形式で授業者が生徒の振り返りに対してコメントします。その際、以下のA、Bの視点に対するコメントを赤と青で記述し、大きくりなまとまりを踏まえた評価へとつなげていきます。

A: 一方的な見方から多面的・多角的な見方へと発展している内容(赤で記述)

B: 道徳的な価値の理解を自分との関わりで深めている内容(青で記述)

道徳 心りかえりシート 2学期 NO.1

姓 名 氏 名

みちしるべ ~心の成長を記録しよう~

| 内容 | 自己評価 | 心りかえり | 先生から一言 |
|-----------------|---------|-------|--------|
| 14 道徳科の授業で学んだこと | A・B・C・D | | |
| 15 道徳科の授業で考えたこと | A・B・C・D | | |

1時間ごとのワークシートには記入せず、ここへ記入させる。この記述を見取り、評価材料を蓄積していく。

生徒が○を付け自己評価する。(教師による評価とは関係ない。)

生徒の記述や授業の様子から、認め・励ます一言を記入する。

内容項目(1~22)を教師から伝えて記入させる。

生徒の記述の見取りとコメントの例A

| 内容 | 感想(これまでの生活や友達との考え、資料から感じたこと、など) | 先生から一言 |
|----|---|---|
| ④ | 自分を花に例えたら、一番の上目である。存在。尊敬される必要は存在である。感じたら友達も「根」と言っていた。友達にも、友達も存在する。花は花でいい。 | 友達の考えを取り入れ考えを深めることができています(他者理解ができています)ので、生徒の学習状況を認めるコメントを与えました。 |

生徒宛のメッセージの意図

班員と互いの考えを交流させる学習活動を通じ、他者の考えを取り入れ考えを深めることができています(他者理解ができています)ので、生徒の学習状況を認めるコメントを与えました。

他の指導者宛のメッセージ: この子は友達のことを取り入れながら考えることができています。

生徒の記述の見取りとコメントの例B

| 内容 | 感想(これまでの生活や友達との考え、資料から感じたこと、など) | 先生から一言 |
|----|--|--|
| ⑤ | チームは1人1人があるからチームとして、たいていチームに出るからいい。自分の立場を自分で決め、行動を自分自身で決めたい。しんせつにすればいろんな人がよるこんでくれるとおもったけど、やるのはちょっとはずかしいな。しんせつをどうやってするのかかわったから、はずかしいけどやってみようとおもいます。 | 道徳的な価値を実現することの難しさを自分との関わりを通して考えられている(人間理解ができています)ので、生徒の学習状況を認めるコメントを与えました。 |

生徒宛のメッセージの意図

道徳的な価値を実現することの難しさを自分との関わりを通して考えられている(人間理解ができています)ので、生徒の学習状況を認めるコメントを与えました。

他の指導者宛のメッセージ: この子は価値を実現することの難しさにも正面から向き合うことができています。